

試合番号 : 222		試合会場 : このはなアリーナ (草薙総合運動場体育館)				観客数 : 1,000				
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:06		試合時間 : 02:06		主審 : 浅井 唯由		副審 : 上村 英紀		
東レアローズ		通算 16勝 9敗 ポイント : 43		18 第1セット 25		東京グレートベアーズ		通算 6勝 19敗 ポイント : 18		
監督コメント	セッター真子が久しぶりのスタメンとして出場したので、序盤はコンビの精度が低く、点数を取れるところで取れなかったのがサードアウト率が上がらなかった原因だと思っています。真子がセットを通してしっかりと修正してくれたことがフルセット勝利につながったと思います。また、途中出場した選手の活躍も大きかったです。明日も勝利できるように準備してまいります。本日は皆さんの応援ありがとうございました。			3	20 第2セット 25		2	東レアローズの驚異的な粘りは素晴らしいものでした。第3セットまではこちらのペースでゲームを進めることができていましたが、ベンチを含めて第3セットを取り切る力が必要でした。明日に向けてしっかりと切り替えて、勝利を目指し万全の準備をしていきます。明日も応援よろしくお願いたします。		
	第1セット、東京グレートベアーズは小田嶋、張、山田、アラウージョのスパイクで試合を優位に運ぶ。東レアローズも西本のブロック、小澤、パダル、富田のスパイクで応戦するが、じわじわりリードを広げた東京GBはアラウージョの重量感あるサーブから連続得点し、セットを先取。				27 第3セット 25			第2セット、東京GBは小田嶋、アラウージョのブロックで好スタートを切る。東レもリベロ山口のサーブレシーブから富田、高橋がスパイク、さらにパダルがサービスエースを決めるが、東京GBは空利、張のスパイク、張のブロックで突き放し、セットを連取。		
	第2セット、序盤から東京GBは小田嶋、アラウージョのスパイクでリードを奪い、東レも攻撃陣が奮闘し拮抗した展開となる。中盤、アラウージョのサービスエースなどで東京GBが一步抜け出すが、粘りのパレーで逆転に次ぎ逆転を制した東レがセットを奪い返した。				25 第4セット 13			第3セット、東レは上條、高橋の活躍で東レがリードを奪う。東京GBも張、戸嶋が反撃するが、東レは上條、パダルのブロックで連続得点し、上條のクイックや手塚の目の覚めるようなスパイクも決まり、終盤に東レが最終セットに持ち込んだ。		
	第4セットはパダル、富田、上條、高橋の活躍で東レがリードを奪う。東京GBも張、戸嶋が反撃するが、東レは上條、パダルのブロックで連続得点し、上條のクイックや手塚の目の覚めるようなスパイクも決まり、終盤に東レが最終セットに持ち込んだ。				15 第5セット 11			第5セット、東京GBは張が東レ・パダルをブロックし連続得点のスタートとなるが、東レは峯村が魂のレシーブを見せると、富田がスパイクで期待に応える。東京GBもアラウージョのスパイクで応戦するが、東レはパダル、高橋のブロックが牙を利き、激闘を制した。		
	第5セット、東京GBは張が東レ・パダルをブロックし連続得点のスタートとなるが、東レは峯村が魂のレシーブを見せると、富田がスパイクで期待に応える。東京GBもアラウージョのスパイクで応戦するが、東レはパダル、高橋のブロックが牙を利き、激闘を制した。									
試合番号 : 223		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 1,374				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:35		試合時間 : 01:35		主審 : 戸川 太輔		副審 : 本間 明		
ウルフドッグス名古屋		通算 19勝 6敗 ポイント : 54		25 第1セット 22		大分三好ヴァイセアドラー		通算 3勝 22敗 ポイント : 9		
監督コメント	春の兆しが訪れ、たくさんの方々にここ豊田合成記念体育館「エントリオ」へお越しいただき、本当にありがとうございます。ようこそウルフドッグス名古屋のホームゲームへ。試合が空いていたにもかかわらず、選手たちは対応してくれたと思います。本日の試合はリーグ戦最終盤にあたっての大きな山場の一つでした。この激しい打ち合いを制したことで得た1勝は大きく、今後に繋がるものであると思います。改めてホームゲームでの大活躍、本当にありがとうございます。我々を勇気づける力となりました。どんなことでも、何かを達成するために取るべき方法はただ一步一步立ち向かうことしかありません。本日の課題を修正し、明日の試合も万全で臨みます。我々ウルフドッグス名古屋と共に戦いましょう。			3	25 第2セット 19		0	第1、第2セットと自分達のサーブで流れを掴む場面もありましたが、各セットともスタートから相手に流れを持っていかれ、攻める試合展開をすることができませんでした。上位のチーム相手でもアグレッシブなオフェンスをすることが勝利につながるとは思いますので、明日の試合はもう一度、攻める姿勢を前面に出して勝利を目指して頑張ります。		
	2位のウルフドッグス名古屋は9位の大分三好ヴァイセアドラーをホームに迎える一戦。第1セット、大分三好は山田の跳躍力あるスパイクやモグニの強烈なサービスエースで序盤にリードを奪う。WD名古屋は中盤に逆転し、23-20としたが、大分三好は山田のサービスエースを含んだ好サーブが続き点差を詰める。WD名古屋はレシーブを崩されながらも山崎がアタックを決め、ピンチを凌ぎセットを先取した。				25 第3セット 15			第2セット、序盤から大分三好は井口がサービスエースを決めるなどサーブが走り、WD名古屋のレシーバーは苦しめられる。WD名古屋はクイックが使えない場面が続くも、セッター前田がサイドの高梨、山崎、クレクの高さを生かすスパスを上げ、ピンチの場面をつくるとなく、セットを連取した。		
	第2セット、序盤から大分三好は井口がサービスエースを決めるなどサーブが走り、WD名古屋のレシーバーは苦しめられる。WD名古屋はクイックが使えない場面が続くも、セッター前田がサイドの高梨、山崎、クレクの高さを生かすスパスを上げ、ピンチの場面をつくるとなく、セットを連取した。				第4セット			第3セット、WD名古屋はブロックランキング上位の藤田、クレク、王にブロックポイントが出て序盤にリードを奪う。大分三好はこのセットから入った安部がアタック決定率100%と躍動しWD名古屋に迫るも、連敗から抜け出したいWD名古屋がそのまま勝利を収めた。		
	第3セット、WD名古屋はブロックランキング上位の藤田、クレク、王にブロックポイントが出て序盤にリードを奪う。大分三好はこのセットから入った安部がアタック決定率100%と躍動しWD名古屋に迫るも、連敗から抜け出したいWD名古屋がそのまま勝利を収めた。				第5セット					
	第3セット、WD名古屋はブロックランキング上位の藤田、クレク、王にブロックポイントが出て序盤にリードを奪う。大分三好はこのセットから入った安部がアタック決定率100%と躍動しWD名古屋に迫るも、連敗から抜け出したいWD名古屋がそのまま勝利を収めた。									
試合番号 : 224		試合会場 : 住吉スポーツセンター				観客数 : 1,288				
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:38		試合時間 : 01:38		主審 : 高橋 宏明		副審 : 山本 晋五		
サントリーサンパズ		通算 20勝 6敗 ポイント : 56		28 第1セット 26		JTサンダーズ広島		通算 13勝 13敗 ポイント : 41		
監督コメント	本日もサンパズへのご声援ありがとうございました。結果はストレートでの勝利となりましたが、JT広島は昨日の課題を修正し、昨日以上の闘志で向かってこられました。勝因となったのは第1セット、劣勢のシーンから最後まで諦めずに戦い抜いたことだと思います。長いシーズン、調子の良い時、悪い時というのは必ずあると思いますが、その上下が激しいところが我々の課題であり、改善できない難しい問題だと思っています。若いチームなので伸びしろも大きいですが、その波の荒さが今季のサンパズらしさかもしれません。力を出すべきときにいせよう”PLAY HARD”を徹底し、今後も活動していきます。2日間ホームでの試合、皆様ありがとうございました。			3	25 第2セット 23		0	昨日と同じような競った展開を第2セットまではつきましたが、最終的には押し切られてしまいました。差が出たところはディフェンスからの切り返しであったと思います。その状況が結果に表れたと思います。今後も上位との試合が続きますが、引き続き、十分な準備を行って勝利を目指します。ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。		
	昨日のナイトゲームで快勝を果たしたサントリーサンパズがJTサンダーズ広島を迎えて挑んだホームゲーム2戦目は、セットカウント3-0でサントリーが勝利を取った。第1セット、JT広島は江のブロック、ラッセルのバックアタックなどで、序盤から優位に試合を進める。しかし、サントリーは終盤に影、ムセルスキーのサービスエースやスパイクが炸裂し、デュースに持ち込み、完全に勢いづいたサントリーがセットを先取る。				25 第3セット 20			第2セット、サントリーはセッター大宅が交代に入った佐藤の連攻を有効に使いながら、自由自在なトスワークを展開し、相手に主導権を渡すことなく、セットを連取る。		
	第2セット、サントリーはセッター大宅が交代に入った佐藤の連攻を有効に使いながら、自由自在なトスワークを展開し、相手に主導権を渡すことなく、セットを連取る。				第4セット			第3セット、後がなくなったJT広島は、小野寺の連攻を中心とした攻撃を組み立て巻き返しを図るも、サントリーは(嶋)らの懸命なレシーブで、JT広島の攻撃を阻止する。さらにサントリーはアライ、藤中(謙)の両アウトサイドヒッターがコースを狙った切れ味あるスパイクを次々と決めるなど、終盤まで集中を切らすことなくセットを取り、ホームで2連勝を遂げた。		
	第3セット、後がなくなったJT広島は、小野寺の連攻を中心とした攻撃を組み立て巻き返しを図るも、サントリーは(嶋)らの懸命なレシーブで、JT広島の攻撃を阻止する。さらにサントリーはアライ、藤中(謙)の両アウトサイドヒッターがコースを狙った切れ味あるスパイクを次々と決めるなど、終盤まで集中を切らすことなくセットを取り、ホームで2連勝を遂げた。				第5セット					
	第3セット、後がなくなったJT広島は、小野寺の連攻を中心とした攻撃を組み立て巻き返しを図るも、サントリーは(嶋)らの懸命なレシーブで、JT広島の攻撃を阻止する。さらにサントリーはアライ、藤中(謙)の両アウトサイドヒッターがコースを狙った切れ味あるスパイクを次々と決めるなど、終盤まで集中を切らすことなくセットを取り、ホームで2連勝を遂げた。									
試合番号 : 225		試合会場 : 日本製鉄堺体育館				観客数 : 427				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:58		試合時間 : 01:58		主審 : 城 智人		副審 : 林 淳一		
堺ブレイザーズ		通算 18勝 7敗 ポイント : 54		25 第1セット 15		VC長野トライデンツ		通算 1勝 24敗 ポイント : 6		
監督コメント	厳しいゲームでしたが、チーム全員で最後まで戦うことができました。リズムを作られる場面が多かったので、明日は修正して自分たちのペースを再度作れるようにしていきます。第4セット、赤星の連続サービスエースでチームに流れを引き戻してくれました。明日も熱い応援よろしくお願いたします。			3	27 第2セット 29		1	ゲームの入りが悪く、第1セットは自チームの良いところが出せず苦しい戦いとなった。第2セットはサーブとディフェンスが機能し、良い形でセットを取ることができた。第4セットは良い形で試合を運ぶことができたが、終盤の集中力で堺が上回り、セットを取ることができなかった。大事な場面での集中力をもっと高めなければいけない。明日に向けてしっかりと修正し、高い集中力を持って最後まで戦い抜きたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。明日もよろしくお願いたします。		
	第1セット、堺ブレイザーズは深津のサーブで流れを掴むと、バーノン、高野、樋口のスパイクやブロックが要所で決まりリードする。VC長野トライデンツはアラウージョのスパイクで応戦するも及ばず、最後は出菜田のスパイクが決まり、堺がセットを先取した。				25 第3セット 21			第2セット、堺はバーノン、VC長野はアラウージョのサービスエース対決を繰り広げる中、VC長野は三輪、池田(幸)のスパイクで抜け出し、この試合初めてリードする。堺も途中出場の竹元のブロックで勢いに乗ると、バーノンのサービスエースやスパイクが決まり、終盤で追いつく。デュースにもつれ込むが、最後はこのセットから出場の工藤のスパイクが決まり、VC長野がセットを取り返した。		
	第2セット、堺はバーノン、VC長野はアラウージョのサービスエース対決を繰り広げる中、VC長野は三輪、池田(幸)のスパイクで抜け出し、この試合初めてリードする。堺も途中出場の竹元のブロックで勢いに乗ると、バーノンのサービスエースやスパイクが決まり、終盤で追いつく。デュースにもつれ込むが、最後はこのセットから出場の工藤のスパイクが決まり、VC長野がセットを取り返した。				25 第4セット 20			第3セット、堺はリベロ山本を中心に全員でボールを拾い繋ぐと、セッター深津の絶妙なトスワークで相手ブロックを崩壊し、高野、樋口が要所で決めてこのセットを制した。		
	第3セット、堺はリベロ山本を中心に全員でボールを拾い繋ぐと、セッター深津の絶妙なトスワークで相手ブロックを崩壊し、高野、樋口が要所で決めてこのセットを制した。				第5セット			第4セット、堺がないVC長野はアラウージョ、三輪のスパイクで得点を重ね、序盤にリードする。中盤、堺はリベロ山本、赤星の連続サービスエースで完全に流れに乗り逆転に成功すると、最後は途中出場の迫田のブロックが決まり、この試合に勝利した。		
	第4セット、堺がないVC長野はアラウージョ、三輪のスパイクで得点を重ね、序盤にリードする。中盤、堺はリベロ山本、赤星の連続サービスエースで完全に流れに乗り逆転に成功すると、最後は途中出場の迫田のブロックが決まり、この試合に勝利した。									

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

試合番号 : 226		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 2,870			
開始時間 : 18:00		終了時間 : 19:27		試合時間 : 01:27		主審 : 木内 誠二		副審 : 栗崎 慎太郎	
パナソニックパンサーズ 通算 15勝 10敗 ポイント : 49		0		22 第1セット 25 16 第2セット 25 19 第3セット 25 第4セット 第5セット		ジェイテクトSTINGS 通算 15勝 10敗 ポイント : 48		3	
監督コメント 相手が非常に良くて、私たちのプレーは良くなかったです。強いサーブやスパイクに構え過ぎて、選手は硬くなりました。明日も挑戦するチャンスがあるので、しっかり準備します。応援よろしくをお願いします。						監督コメント まずは粘り強いプレーを見せたパナソニックを讃えたいと思います。独豪チームを相手に素晴らしいパフォーマンスができて、選手一人一人のことを誇りに思います。いつも応援ありがとうございます。引き続きよろしくをお願いします。			
要約レポート シーズンも終盤に差しかり、ファイナル4に向けて混戦状態となったパナソニックパンサーズとジェイテクトSTINGSの熱い戦いは、ジェイテクトがストレートで勝利した。第1セットは両チームが主導権を取り合った。パナソニックはセッター深津が大竹、クビアクで得点を重ねたが、ジェイテクトはセッター関田が西田、柳田にトスを集め得点を重ね、セットを先取した。第2セット、ジェイテクトはウルナウトのサーブで5連続得点をあげ、一気に流れに乗る。パナソニックは大竹の攻撃でじわじわと追いつけるも一歩及ばず、ジェイテクトがセットを連取した。第3セット、パナソニックはセッターを深津から新に代えスタートする。クビアク、エバデダンの攻撃で次第にリズムを取り戻すも、ジェイテクト西田の勢いは止められず、最後は柳田のブロックでジェイテクトが勝利した。									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -				第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット				監督コメント	
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -				第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット				監督コメント	
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -				第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット				監督コメント	
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									